

令和 6 年 2 月 2 8 日
道路・交通計画部交通政策課

砧モデル地区デマンド型交通における実証運行の継続について

1 主旨

公共交通不便地域対策として取り組んでいる砧モデル地区においては、令和 5 年 5 月 1 日より地域と協働しながら、デマンド型交通による実証運行を開始した。

実証運行開始後の 9 ヶ月間の利用状況等について検証した結果、令和 6 年度も実証運行を継続する。

2 実証運行の状況（令和 6 年 1 月末現在）

別紙 1 「砧モデル地区実証運行状況」参照

3 アンケート調査の結果

別紙 2 「ニュース vol. 3 発行によるアンケート調査結果」参照

4 これまで取り組んだ主な周知活動(令和 5 年 1 1 月以降)

(1) 運行区域内の各家庭（約 15,000 世帯）にコミュニティ交通ニュースを配布

(2) 公共施設や民間施設にポスター掲示、チラシ配架、地域イベントでのチラシ配布

5 運行収支の状況

【単位：千円】

	令和 5 年 5 月～ 令和 6 年 1 月	(中間報告時) 令和 5 年 5 月～ 9 月
利用者数	4,079人	2,236人
1 日あたりの平均利用者数	35人	34人
支出（乗務員の人件費等）	7,697	4,205
運賃収入	631	348
運賃外収入（申込み件数11件）	85	0
収支率（ + / ）	9.3%	8.3%
一人あたり経費（ - - ） / ）	1,711円	1,725円

運賃外収入：1 口あたりの協賛金 5,000 円

（参考：実証運行の目標数値等）

実証運行の目標数値を 1 日の平均利用者数 90 人（1 年間で 14,040 人、収支率 30% 以上）とする。

目標数値を下回る（平均利用者数 60 人以下 / 1 日、収支率 25% 未満）場合は、状況に応じた改善策を検討する。

目標数値を大幅に下回る状況（平均利用者数 35 人未満 / 1 日、収支率 20% 未満）が続いており、改善の見通しが立たない場合は運行形態変更を含む抜本見直しを検討する。

6 検証結果

- (1) 運行開始後9ヶ月間の結果として、地元協議会との協働で取り組んだことにより、一日当たりの利用者数は、50人を超える日もあり、平均としては35人となっている。利用状況では70歳以上の高齢者の割合が全体の6割を占め、運行開始前のアンケート調査で想定していた4割の利用を大きく上回っている。
- (2) 収支率が低い要因として、利用者数が目標数値を下回ったことや、運賃を100円としている70歳以上の高齢者の利用割合を当初4割と想定していたところ、運行開始後のデータでは、6割を占めたことが挙げられる。一方、協賛金の獲得により、少しずつ改善されている。
- (3) 今回の実証運行は、メインターゲットを高齢者とし、外出促進に繋げる移動手段として、デマンド型交通の実証運行を開始したところであるが、当初掲げた目標人数や収支率には、現時点では達していないものの、アンケート結果の検証から、高齢者の外出機会の増加や家族等に頼らない移動が可能など、日常生活の充実、フレイル予防等、移動が持つ波及効果も表れているとのことで、導入効果として一定の評価ができる。
- (4) 地元企業や個人の方からも運行を支援する協賛金を得るなど、今回報告している11件の申し込みに加え、他にも前向きに検討を示している企業等もあり、本実証運行について地域で賛同を得ている。
- (5) 更なる利用者増を目指して運行改善策を実施した上で、2年目となる令和6年5月以降も実証運行を継続し、引き続き地域と連携しながら、課題や有効性などを検証していく。

7 今後の取り組み

- (1) 2年目の実証運行に向けて（状況に応じた改善策）
 - 乗降地点の追加（2ヶ所/別紙3「乗降地点の追加について」参照）
 - 運行時間の延長（1年目では運行終了時間を18時。2年目からは19時まで延長）
 - 年末年始（12月29日～1月3日）の運休の検討
- (2) 協賛金獲得の取り組み
 - 地元協議会とも協力しながら、引き続き、企業に周知するとともに、コミュニティ交通ニュースや掲示板へのポスター等で、運営協賛や広告協賛の確保に取り組んでいく。
- (3) 周知活動
 - ポスター掲示、チラシ配布、各家庭へのコミュニティ交通ニュースの配付、区のおしらせ、スマートフォンからの予約体験型出前講座、オープンハウスの実施など、地域と連携して取り組んでいく。

8 砧モデル地区の今後の進め方及び他地区への展開の考え方

(1) 砧モデル地区の今後の進め方

砧モデル地区における実証運行開始後の9ヶ月間の利用状況等について検証している中で、当初掲げた目標人数や収支率には現時点で達していないものの、ワゴン車両による移動支援サービスが区民生活を支える移動手段の社会的インフラとして、その必要性が認められた。

実証運行2年目において、改善策を講じ、利用人数や収支率の向上を目指すとともに、引き続き利用者の実態把握や分析を行い、実証運行から本格運行へ移行する基準と支援のあり方について検討を行う。

今回の実証運行については、東京都からの補助事業(補助率1/2、補助上限額1,980万円/年)を活用し、実施しており、補助事業は最大で3年間となっている。

(2) 他地区への展開の考え方

他地区展開については、砧モデル地区の実証運行が目標値に達していないため、見えてきた利用実態や課題、有効性を見据え、他の公共交通不便地域への展開のあり方、公費負担のあり方について検討し、導入方策に向けた区、地域住民、運行事業者のそれぞれの役割や手順、地元への入り方と地元協議会の組織づくりなどを示したガイドラインとなる手引き(案)を令和6年度に作成する。

令和7年度以降、手引きをもとに、他の重点検討地域における地元の機運や地域の特性などを確認しながら、公共交通不便地域の解消に向けて、地域と協働した取り組みに着手していく。

9 今後のスケジュール(予定)

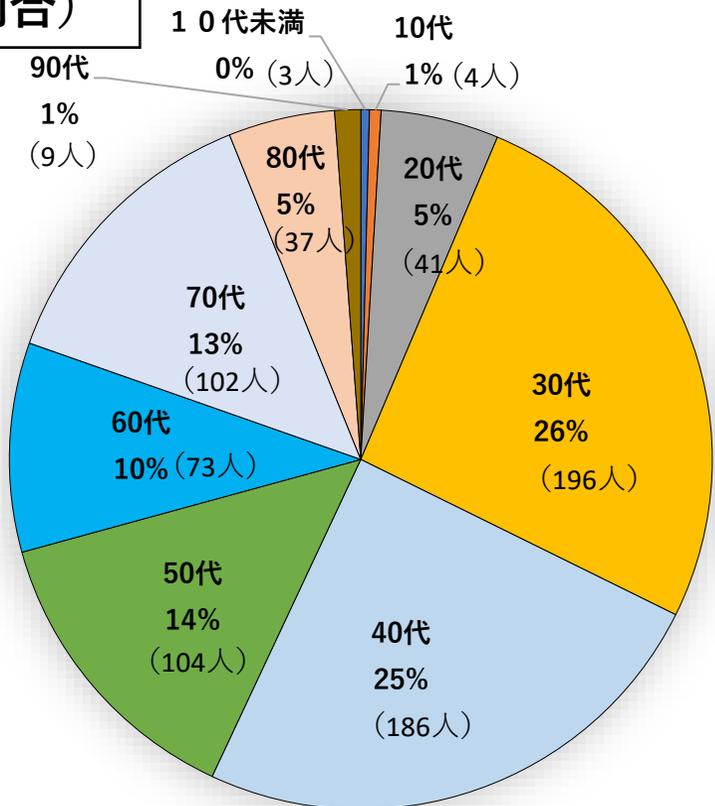
令和6年3月	コミュニティ交通ニュースの発行 (実証運行継続に向けた報告会周知)
4月	地域向け報告会を開催(実証運行継続に向けた報告会)
5月1日~	2年目の実証運行開始

砧モデル地区実証運行状況

WEB登録者の割合は、30～40代の子育て世代が多い。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
WEB登録者数	85	154	88	75	61	146	34	59	34	19	755
乗車割引証発行数	131	55	90	51	16	58	26	20	21	8	476

WEB登録者数 (年代別の割合)



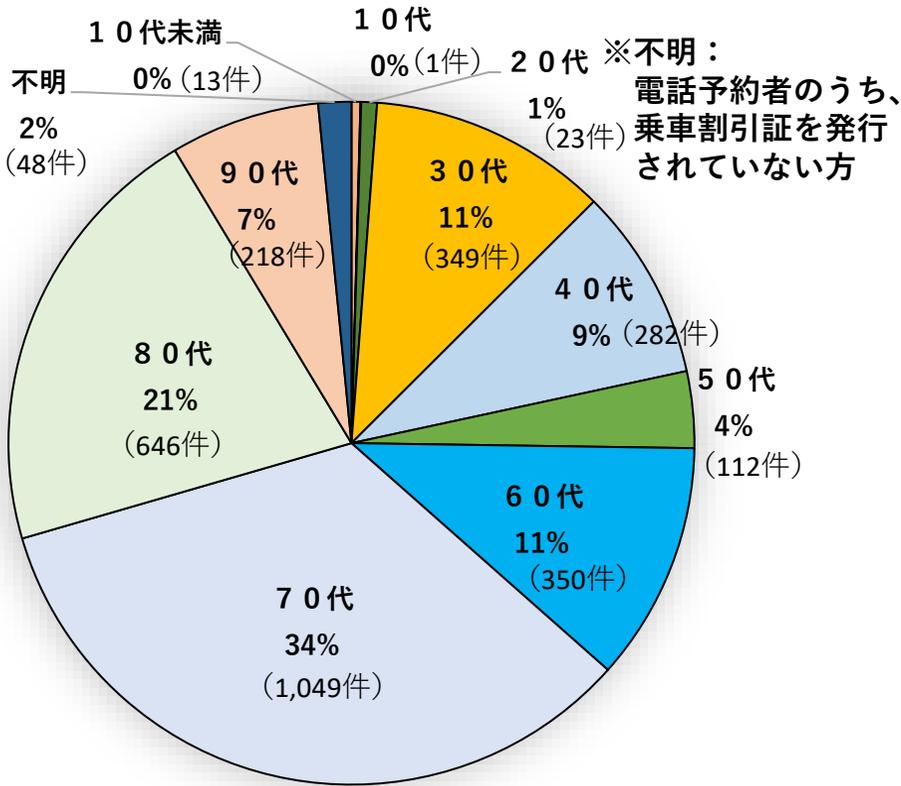
N=755人

※小数点第1位を四捨五入しているため、合計が100%にはなりません。

利用件数について

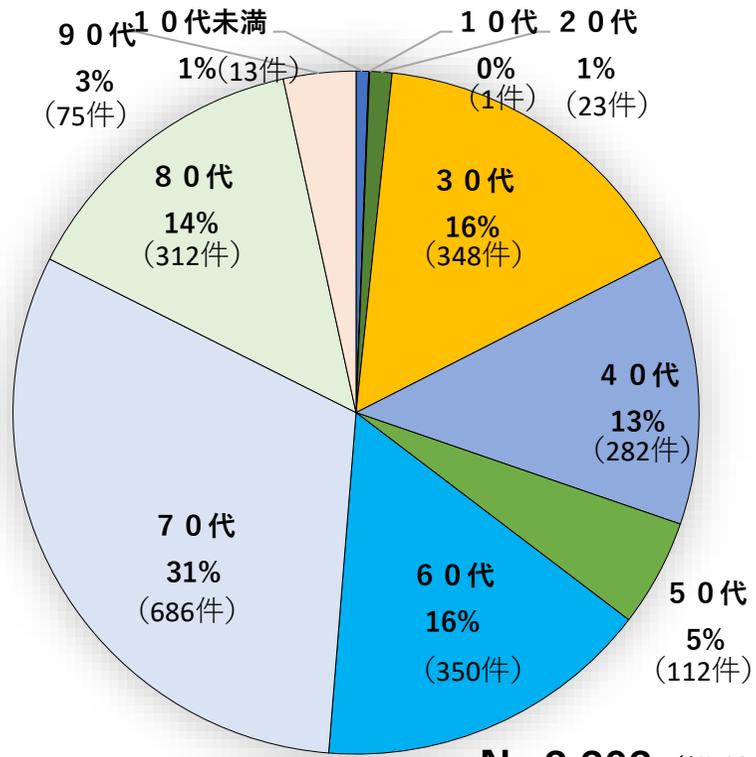
運行開始後～この間では6割が70歳以上の高齢者利用。

利用件数（年代別の割合）
※電話予約を含む



N=3,091（総利用件数）

利用件数（年代別の割合）
※WEB登録者のみ



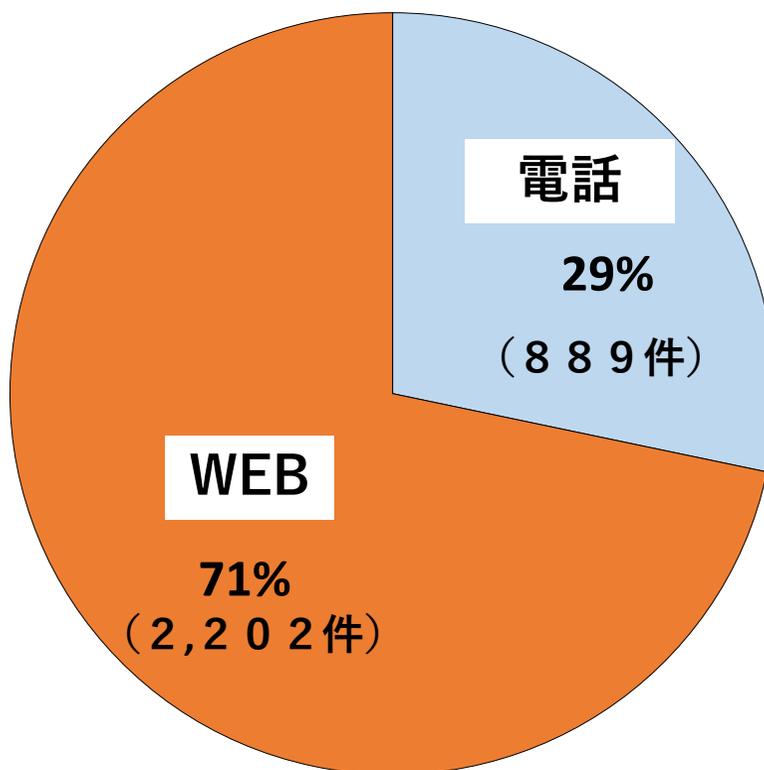
N=2,202（総利用件数）

※小数点第1位を四捨五入しているため、合計が100%にはなりません。

※利用件数：1乗車あたり1件の中で複数名の乗車もある。

専用予約サイトでの予約件数の割合が約7割である。電話予約が約3割。

予約方法の割合

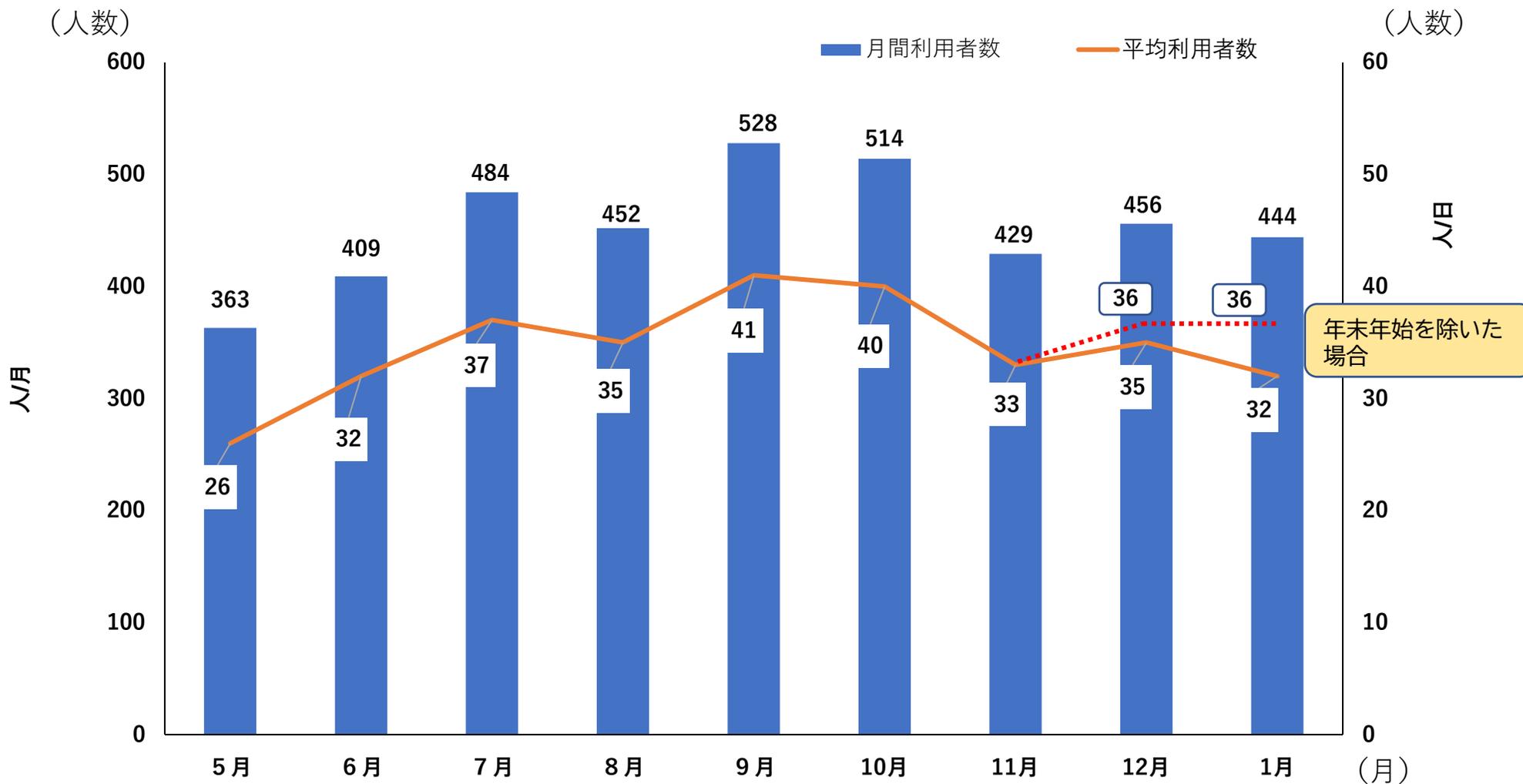


N=3,091件

(利用人数：4,079人)

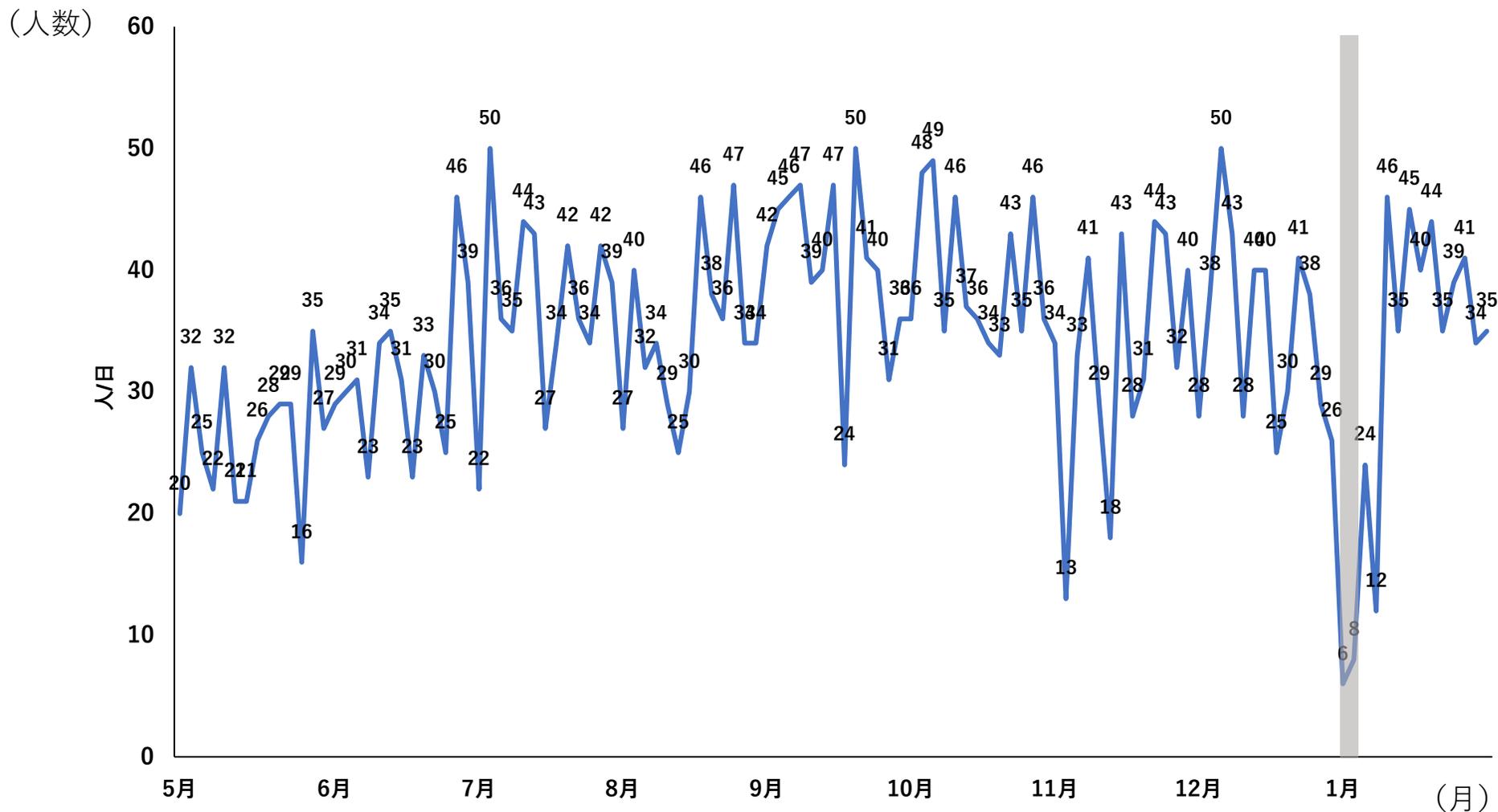
利用状況等について（月間利用者数・1日あたり平均利用者数）

冬季に入り落ち込みもみられるが、運行開始当初と比較して、利用者数が増加している。



利用状況等について（1日あたりの利用者数）

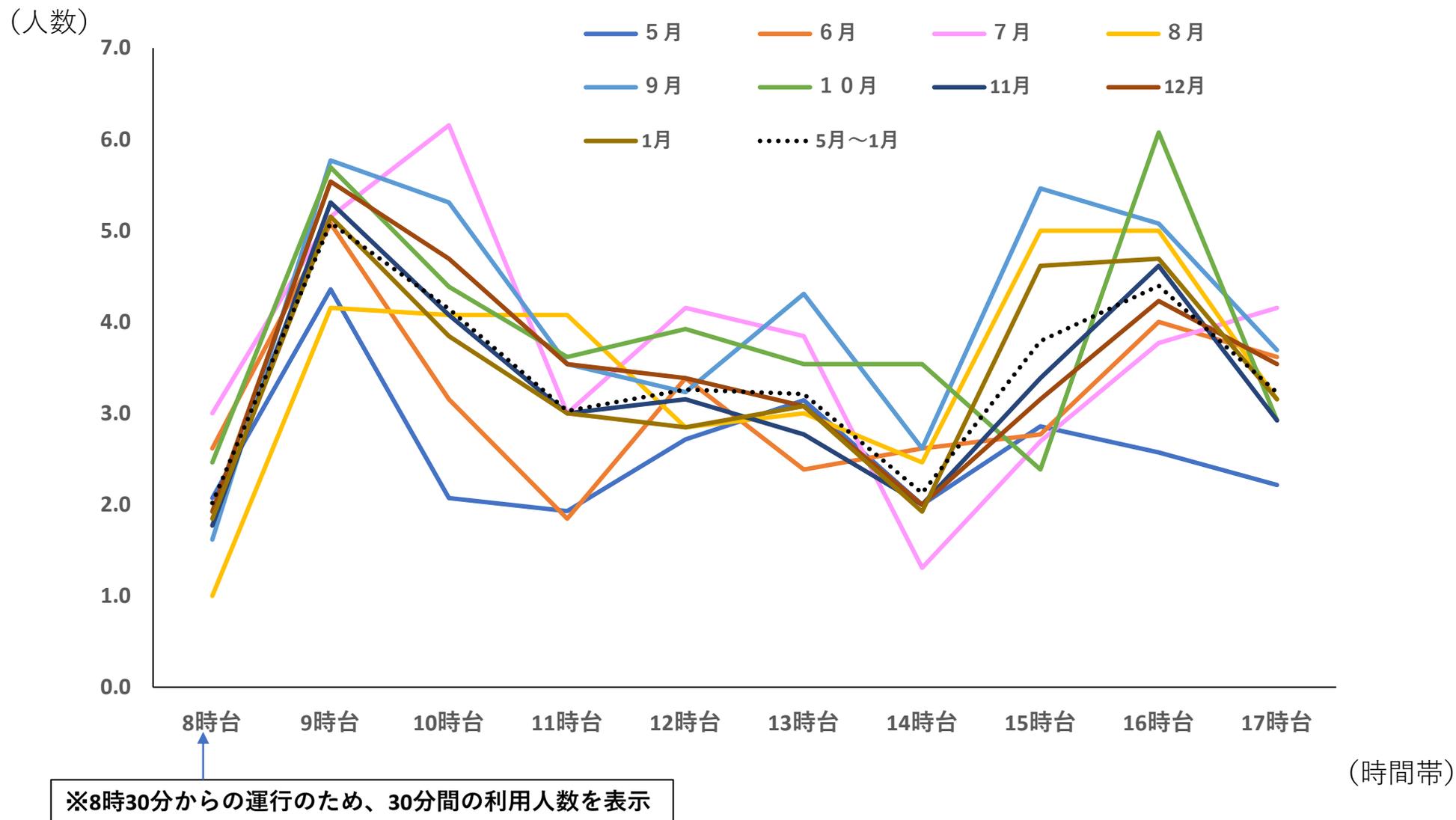
運行開始当初～10月にかけて利用者数は右肩上がりで増加している。
冬季に入り利用者数の上下幅が大きくなる傾向が見られる。
祝日やお盆は利用者が減少する。



1日あたりの利用者数

利用状況等について（時間帯別の平均利用者数）

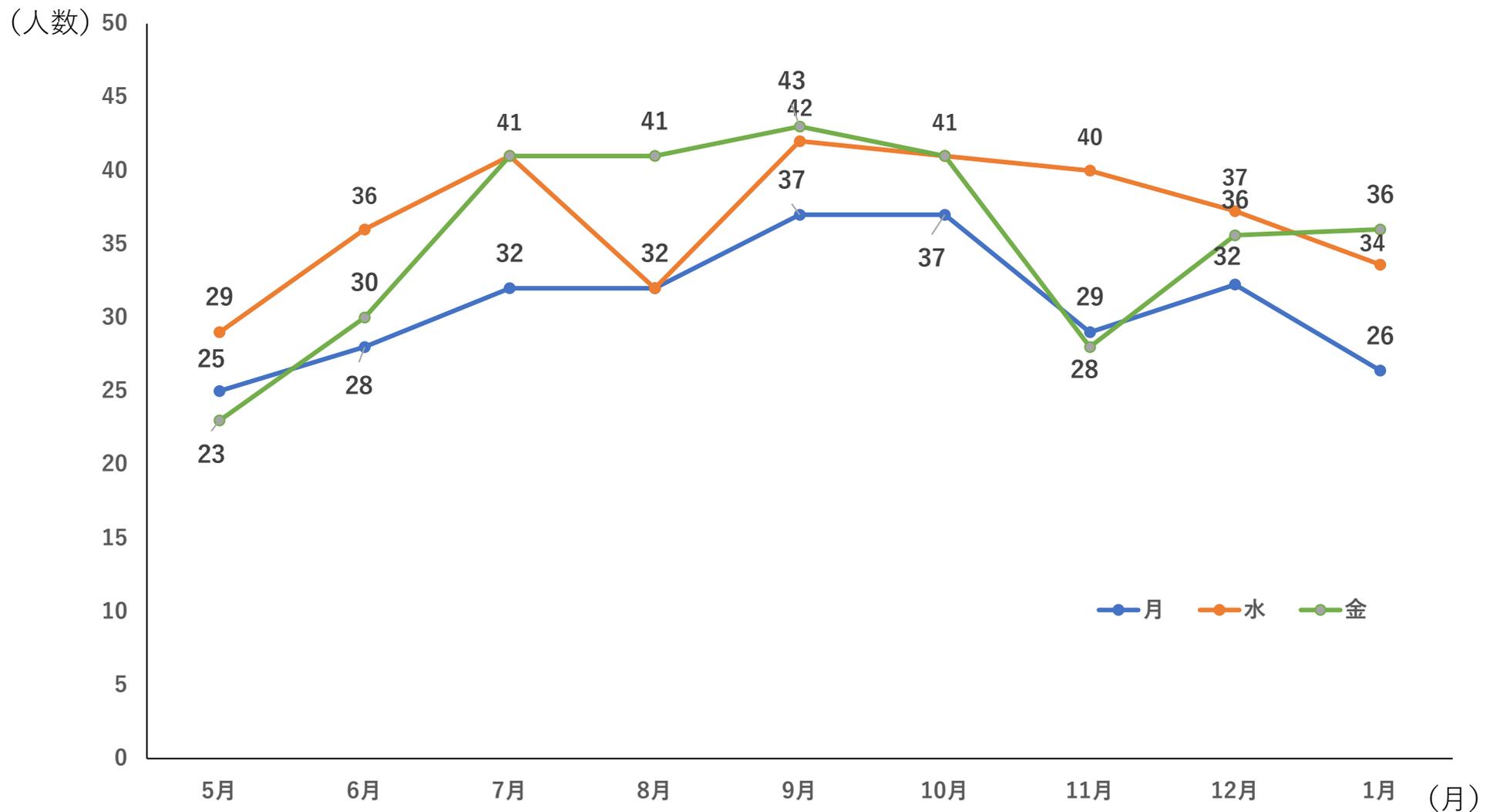
時間帯別にみると、9時～10時、15時～16時台の利用が多い傾向が伺える。



利用状況等について（曜日別）

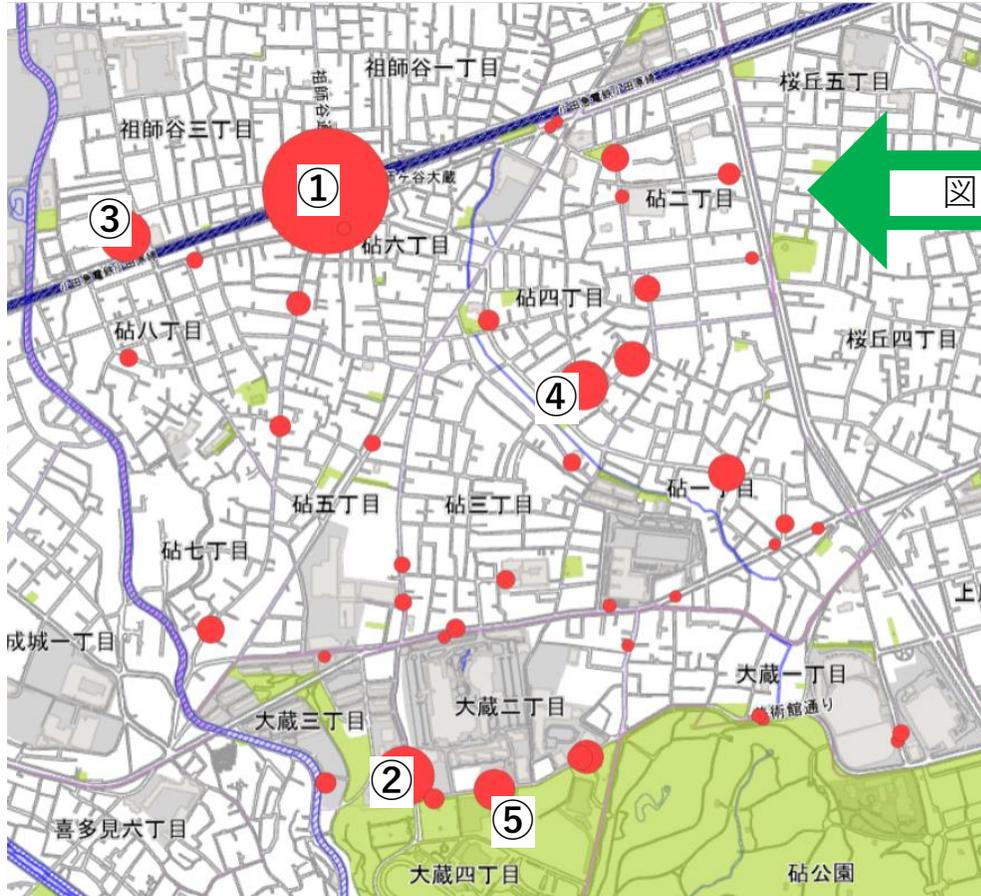
水曜日の利用が多い傾向がある。

【曜日別の平均利用者数】



利用状況等について（利用の多い乗降地点）

駅の利用が最も多く、南北にある乗降地点の利用が多い傾向がある。



乗降回数分布図（合計）

●利用の多い乗降地点（合計）

順位	乗降地点名
1	祖師ヶ谷大蔵駅
2	カーメスト大蔵の杜（5・6・7号棟）
3	砧図書館
4	とみやまクリニック
5	大蔵運動場（屋内プール前）

●利用の多い乗車地点

順位	乗車地点名
1	祖師ヶ谷大蔵駅
2	カーメスト大蔵の杜（5・6・7号棟）
3	とみやまクリニック
4	砧1丁目21番（マンション前）
5	砧4丁目18番先

●利用の多い降車地点

順位	降車地点名
1	祖師ヶ谷大蔵駅
2	砧図書館
3	カーメスト大蔵の杜（5・6・7号棟）
4	大蔵運動場（屋内プール前）
5	とみやまクリニック

ニュースvol.3発行による アンケート調査結果

アンケート実施概要

- (1) 実施期間 令和5年9月1日(金)～11月30日(木)
- (2) アンケート方法 ニュース付属の「はがき」による郵送回答もしくは「二次元コード」によるWEB回答
- (3) 調査内容 利用者の属性、利用状況、今後の利用意向など

運行区域内に
全戸配布
(約15,000世帯)

アンケートにご協力をお願いします

下のはがき(切手は要りません)を切り取って郵送[※]いただくか、右の二次元コードを読み取ってお答えください。



※令和5年11月30日までに投函ください。

予約制乗合ワゴン実証運行アンケート

問1: 予約制乗合ワゴンを知っていましたか?

- 知っている 知らなかった

問2: 予約制乗合ワゴンを利用したことがありますか?

- 利用したことがある 利用したことがない

問3: 利用したことがある方にお聞きします
利用して良かった点(いくつでも)はなんですか?

- 外出の機会が増えた 自宅付近で乗降できて便利
 目的地の近くまで行けて便利 自宅付近で乗降できて便利
 家族や知人に送迎を頼まなくて移動できる
 その他()

問4: 利用したことがない方にお聞きします
利用していない理由(いくつでも)はなんですか?

- 知らなかったから 徒歩・自転車で移動できるから
 予約が面倒だから 利用の仕方が分からないため
 利用したい曜日に運行していないから
 利用したい時間に運行していないから
 利用したい乗降地点がないから
 その他()

問5: 今後の利用意向を教えてください

- 利用する 加齢等により将来的には利用する
 利用しない その他

性別 年齢 住所
男性・女性・その他 歳

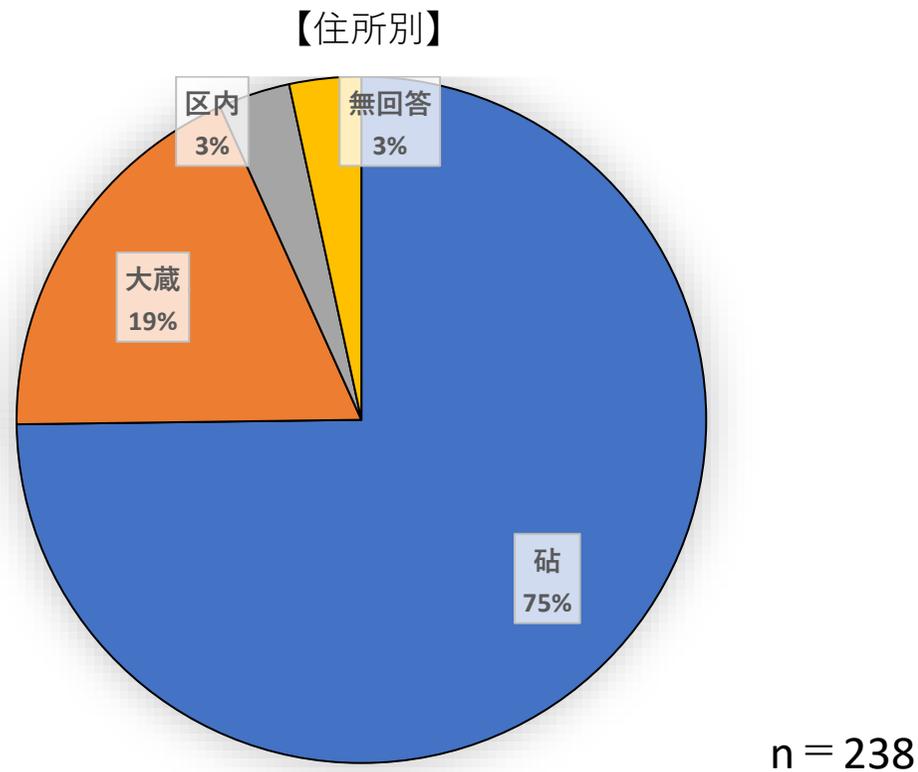
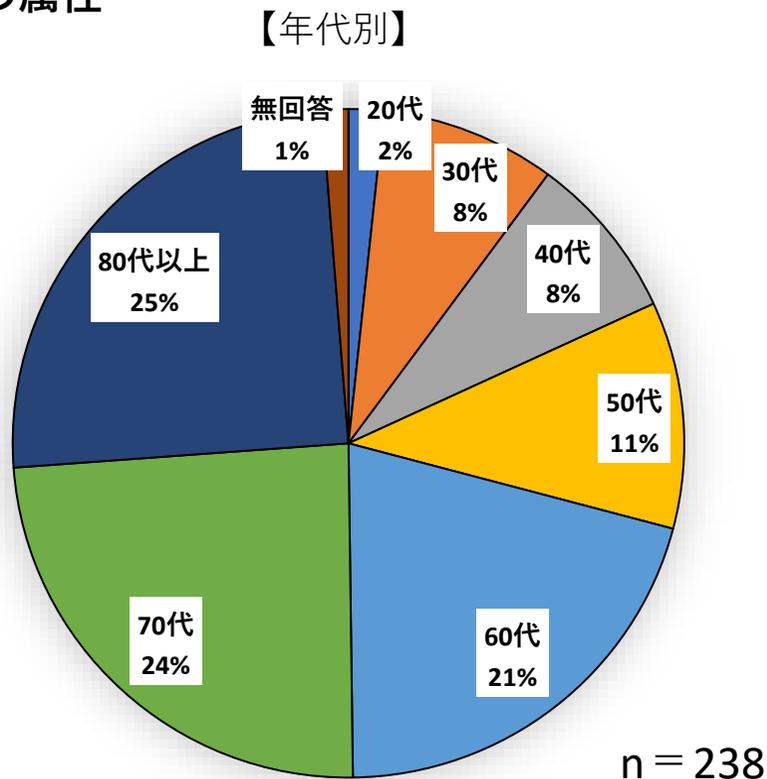
アンケート結果①（回収数、属性）

砧1～8丁目にお住まいの方からの回答が多く、60歳代以上の回答が多い。

■アンケート回収数

回収内容	回収数	合計
郵送	191	238
WEB	47	

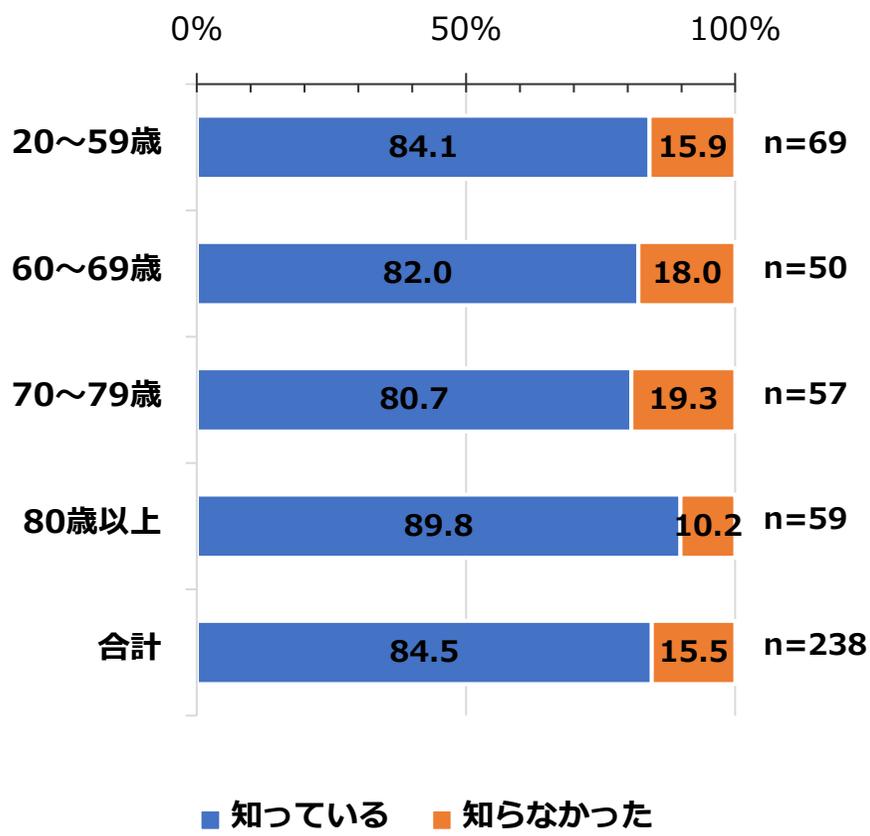
■回答者の属性



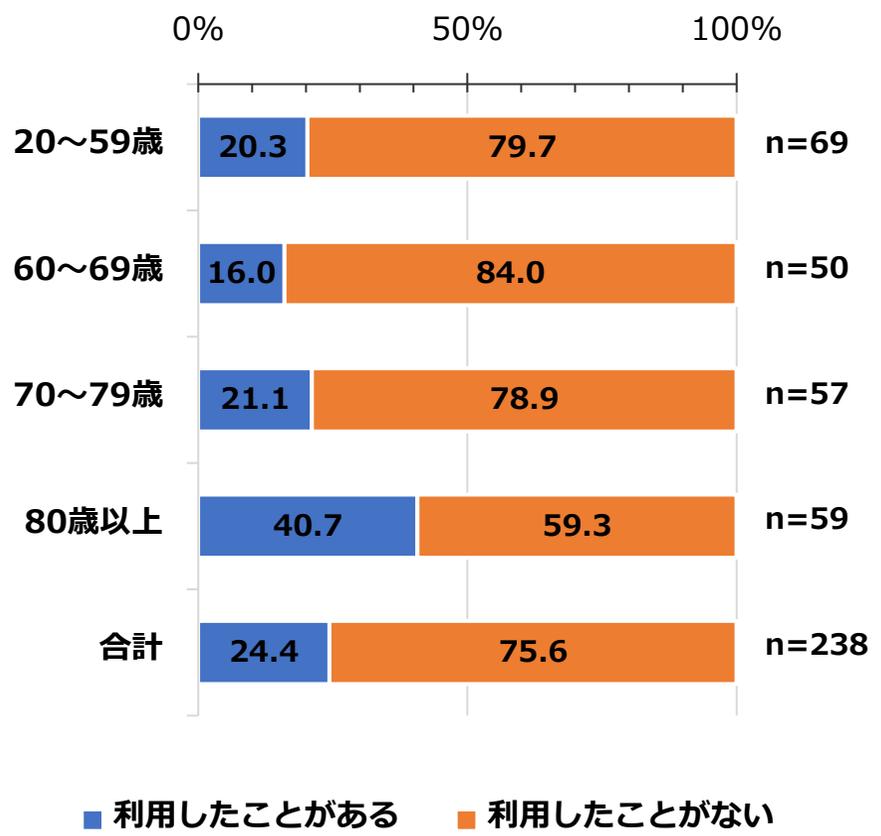
アンケート結果②（認知度、利用状況） 「年代別」

80歳以上では、「知っている」が約9割、「利用したことがある」が約4割となっており、他の年代に比べ回答の割合が高い。

【予約制乗合ワゴンを知っているか】

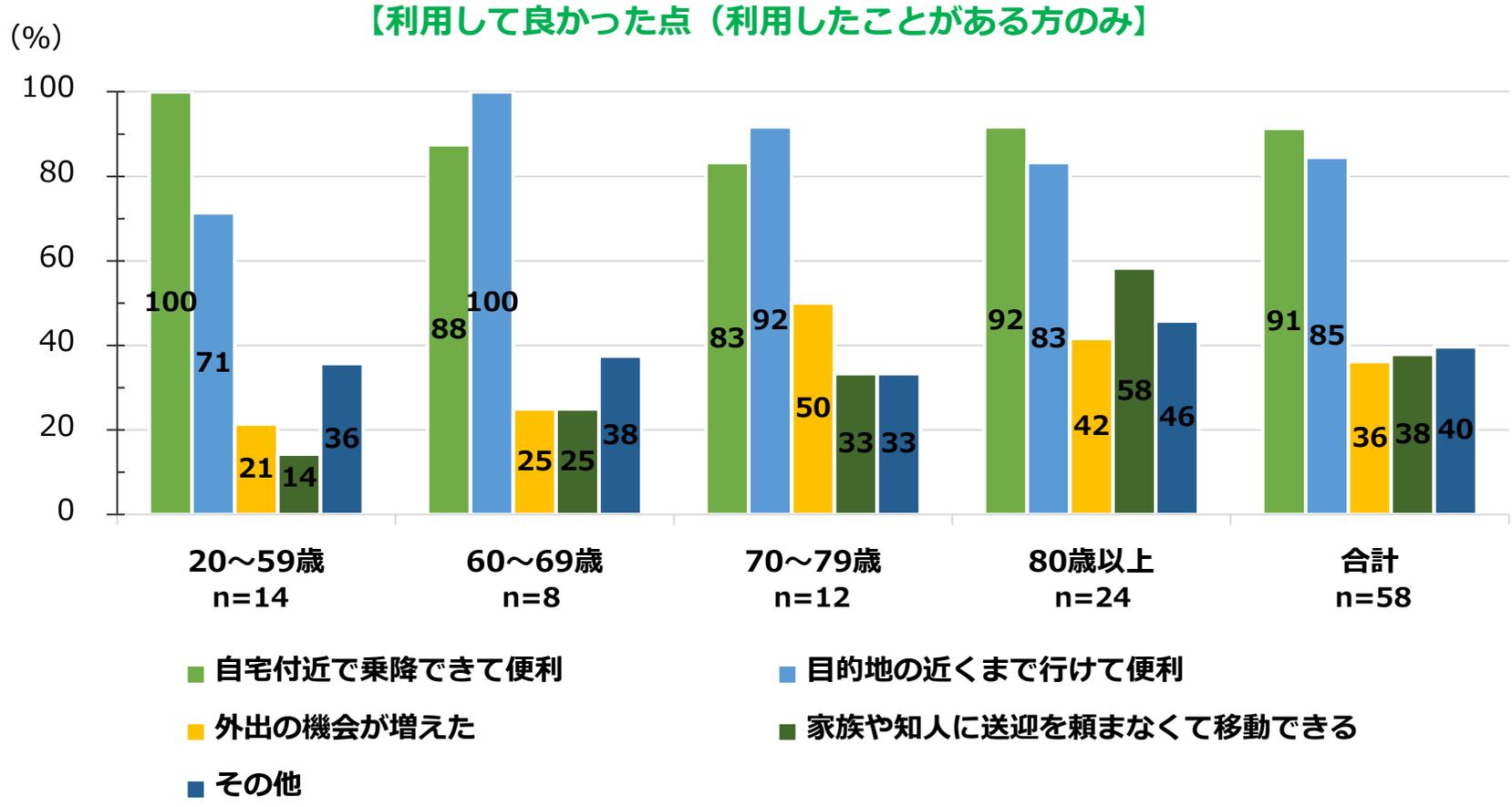


【予約制乗合ワゴンを利用したことがあるか】



アンケート結果③（利用して良かった点） 「年代別」

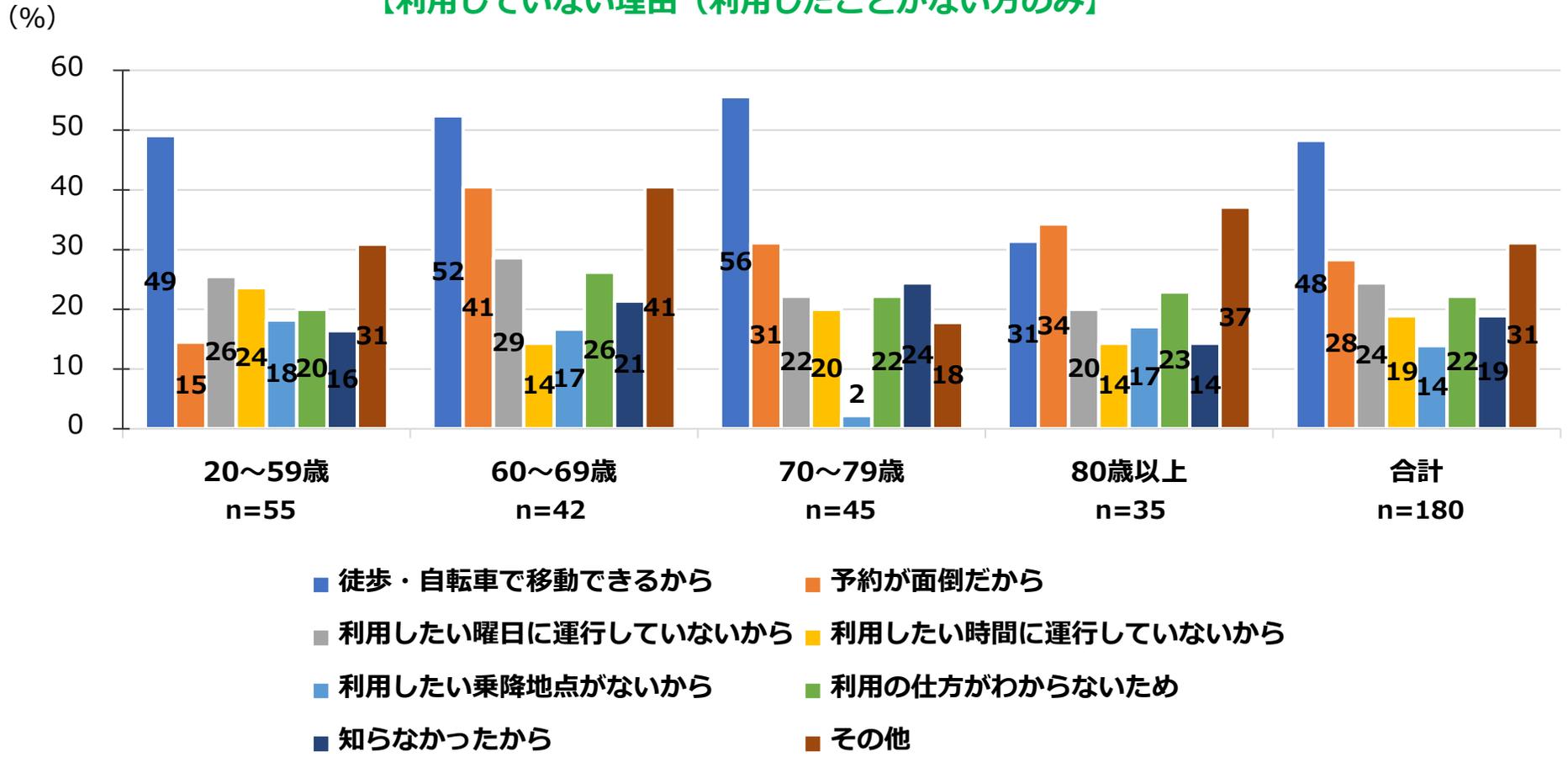
「目的地や最寄りで乗降できる」などの利便性に対する回答が多い。また、「外出機会の向上や家族等の送迎負担の軽減」などの波及効果の回答もある。
70歳以上では、「外出の機会が増えた」の割合が高く、80歳以上では、「家族や知人に送迎を頼まなくて移動できる」割合が約6割となっている。



アンケート結果④（利用していない理由） 「年代別」

高齢者の方からは、乗車にあたり「予約が面倒だから」の割合が高いものの、実際に利用した方からは「予約が簡単」であり、座って目的地まで行けることで、快適で便利との声も多いことから、PR等の工夫をさらに図ることで「予約が面倒だから」「利用の仕方がわからないため」「知らなかったから」の方もご利用いただける可能性が高い。

【利用していない理由（利用したことがない方のみ）】



アンケート結果⑤（今後の利用意向） 「年代別」

60歳代の「利用する」割合が他の年代に比べて低いものの、「加齢等により将来的には利用する」割合が高い数値を占め、今後の利用への転換の可能性がある。70歳代、80歳以上と年齢が上がるにつれ、「利用する」割合が高くなっており、80歳以上では、約6割が「利用する」と回答している。

【今後の利用意向】

